

「田んぼダム」に取り組みましょう!!



「田んぼダム」とは、田んぼに降った雨水を一時的に貯め、時間をかけてゆっくりと排水する取り組みです。

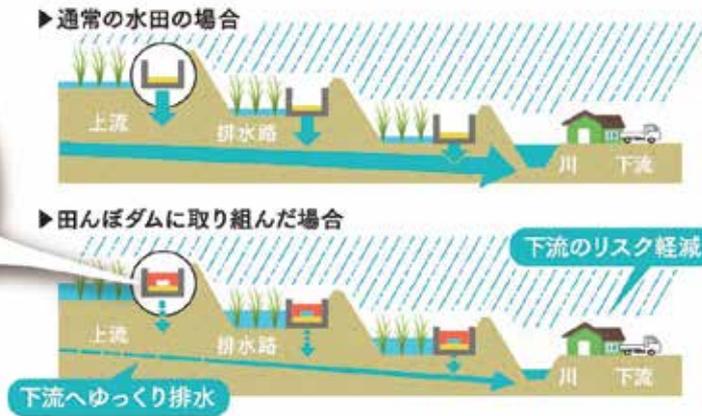
「田んぼダム」に取り組むことで、**田んぼから流れ出す水の量を緩やかにする効果が確認され、これにより降雨時の浸水リスクなどの被害軽減が期待できます。**さらに、「田んぼダム」に取り組んでも**農作物の生育や収量などへ特段の影響がない**ことも分かりました。

また、**多面的機能支払交付金**などを活用して、「田んぼダム」専用せき板※1、専用排水柵※2を購入（写真参照）することなどができます。

人吉・球磨地域では、令和5年度末時点で既に**617ha（東京ドーム約135個分）の田んぼで取り組みを実施**しています。このように、**身近な地域や下流域のために**、農家同士で協力して「田んぼダム」を推進しています。

「田んぼダム」は**地域全体のより多くの田んぼで取り組むこと**によって、**災害リスクに対するより大きな効果を発揮**します。皆さんの地域を田んぼで守るため、ぜひ、「田んぼダム」に取り組みましょう。

田んぼダムの仕組み



©2023熊本県くまモン



もっと知りたい方はQRコードから!!

〈問い合わせ〉 農政課 農地整備係 TEL0967 (67) 2706

雨水湛水事業について

～雨水を有効活用して地下水を増やしましょう!～



昨年度から、稲作期間中に排水口のせき板を通常より5cm高くすることで、雨水を有効活用した地下水涵養に取り組んでいます。協力いただける稲作農家の方に10aあたり3,000円を補助します。

対象水田など詳しくは以下のとおりです。取り組みに協力いただける人は5月30日（金）までに農政課 農政係へ申請書の提出をお願いします（申請書は農政課窓口にあります）。

対象水田：用水を主にボーリングによる地下水で賄っている水田

実施期間：6月～8月の間で60日以上

実施内容：①上記期間中は排水口に通常より5cm高いせき板を設置してください。
②農政課で配布する雨水湛水の看板をほ場に設置してください。
③一部の水田で東海大学農学部が調査を実施しますのでご協力ください。

注 意 点：①せき板は各自で準備をお願いします。
②この取り組み実施で畦畔のくずれ、コンバインのはまりこみなどが発生しても村からの補償はありません。
③畦畔の崩れを防止するため、できるだけしっかりと畔塗りを行ってください。



通常より高く設定したせき板のイメージ

〈問い合わせ〉 農政課 農政係 TEL0967 (67) 2706